



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚 文

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

定時総会
6月3日(日)仙台市福祉プラザで
決算・役員改選を審議

宮城県芸術協会の平成30年度定時総会は、6月3日(日)午後2時10分から、仙台市青葉区五橋の仙台市福祉プラザで開かれる。29年度の事業報告及び決算、役員改選が主な議題。30年度の事業計画と収支予算は、理事会の議決案件のため報告事項となる。本年度の芸術祭では、全体の統一テーマを設定する形式を継続し、事業展開を図る。

平成30年度事業計画(6面) トⅡとして継続、発展を図り、は当協会の今後の発展を見据え、将来につながる人材育成事業として、各部公募展や音楽コンクール関連事業等の開催意義や目的を明確にさせながら、地域と密着した有意義な事業を展開し、公益法人としての使命を果たしていく方針を示している。基幹事業の第55回宮城県芸術祭では、昨年度に初めて導入した芸術祭全体に統一テーマを設定する手法を踏襲。「結い パー

後、11月21日(水)の表彰式を経て、来年3月17日(日)の第39回音楽コンクール本選までの期間、各部が事業を精力的に展開する。30年度の予算(7面)は、公益目的事業の収支をマイナスまたはゼロとしなければならない「収支相償の原則」と、公益目的事業費の比率を事業費全体の50%以上とする、公益法人の財務基準を満たすことを前提に収支の各科目を精査し編成した。支出面では、各事業の充実に取り組みながら、改善が必要な事業については協議を重ね、効果的な事業の効率的な執行に努め、経費の節減を追求する。全体の収支としては、多くの賛助会員の変わらぬご支援等により、前年に比べ更なる改善が図られる見通しである。総会終了後に理事会が開かれ、理事長・執行理事選定規程に基づき、執行部役員を選出。新体制による活動がスタートする。

今年度はスペシャルイベントでPR

第55回宮城県芸術祭

第55回宮城県芸術祭の開催をアピールする試みとして、今年9月30日、「芸術祭スペシャル・イベント」を実施する。一部事業は21日、先行開催されるが、スペシャル・イベントは芸術祭全体の周知と盛り上げを図る特別企画。プログラムは昨年度に続く統一テーマ「結い」に沿った内容で構成され、各部も期待される。入場無料。

多様な芸術を組み合わせ、パージョンアップした「目玉事業」が芸術祭を華やかに彩り、入場者を奥深い芸術の世界にいざなう。理解の深まりと交流の加速も期待される。入場無料。

紹介 震災の実相
講演 講師は津田喜章 N_HK アナ

定時総会に先立ち、6月3日午後1時から記念講演を実施する。講師にはNHK仙台放送局のアナウンサー、津田喜章氏を予定している。東日本大震災の最大被災地・石巻市出身で、2005年仙台局に赴任。以降、ふるさとにとどまり、震災9日後から番組「被災地からの声」のキャスターを務めるなど、あの日から7年の歩みをつぶさに見てきている。講演では復興に格別の思いを込めつつ重ねた取材経験を基に、伝え手が「聞いた、感じた」震災の実相を語ってもらう。被災地(者)に当協会や個々の会員が正面から向き合い、芸術文化に期待される「心の復興」にいかに関与するかが問われる中、興味深く示唆に富む内容になると思われる。

第55回芸術祭統一テーマ

「結い」継続

～趣旨の浸透と深化が課題～

第55回宮城県芸術祭は、昨年度に引き続き、統一テーマを「結い」に設定、一層の盛り上げにつなげる。

各団体が統一テーマに沿った作品の展示や舞台発表を行うことで、メッセージ性を鮮明に打ち出し、県民・市民らの来場、参加を強く促すのが狙い。

初めて取り組んだ昨年度は、試みの目新しさもあり、大きな反響を呼んだものの、趣旨が浸透しきれなかったと言いつつ側面があった。本年度は「結いパートⅡ」とし

て、理解と活動内容の深化を図る。会員個々がテーマに込めた趣旨を掘り下げて解釈し、会員間

渡邊榮参事(工芸部)が名誉会員に

平成29年度第4回理事会で、工芸部の渡邊榮参事が名誉会員に推薦され、本人の承諾により、4月1日付で名誉会員に就任した。

法人運営規程第7条第2項に「理事長は、参事の職にあり、満85歳に達し、理事会から推薦された会員を名誉会員にするこ

はもとより、県民・市民らとの縁を深められるか、真価が問われる機会ともなる。

部長・副部長の皆さん

平成30年度の各部の部長、副部長は次のとおり。原則として任期は2年。太字は新任。

◎ 〓 部長 ◎ 〓 副部長。
【絵画部】◎ 及川英之◎ 庄子幸一◎ 森眞澄【彫刻部】◎ 大槻俊之◎ 小関俊夫◎ 阿部弘子【工芸部】◎ 樋田隆◎ 安藤令子◎ 鍋田尚男【書道部】◎ 千葉蒼玄◎ 太田蓮紅◎ 建部恭子【華道部】◎ 三浦景舟◎ 佐藤華井◎ 米山理央【洋楽部】◎ 熊井雅美◎ 渡邊直道◎ 佐藤博幸【邦楽部】◎ 杵屋和加喜久◎ 大友瞳山◎ 稀音家六城遊【演劇部】◎ 大日琳太郎【文芸部】◎ 佐藤淑子◎ 玉田尊英【舞踊部】◎ 高橋厚子◎ 花柳寿美衡【茶道部】◎ 鎌田宗節◎ 菅原宗玉【写真部】◎ 落合英俊◎ 加藤友一◎ 関敏彦◎ 山本かつい

新運営委員

【絵画部】小野寺康、橋本道代、山口裕子、安達吉男、小野由貴子、斎藤正和、其田マサ、目黒壹三郎【書道部】大町青蓮、木村錦翠、渡辺楊麗【華道部】加藤静香、武田華陽、倉田豊耀、渡辺理和、富樫英香、那須玉汀、手塚菖園【洋楽部】市川恵美、小澤牧子、叶光徳【茶道部】成田静波【写真部】小住正吾、山田愛子

新入正会員は81人

3月16日に開かれた29年度第4回理事会、4月20日の30年度第1回理事会で、30年度新入会員として計81名について審議、全員の入会が承認された(3面に名簿)。昨年当初の新入会員は88名で7名下回っている。30年度の新入正会員は85名を見込んだ予算が計上されている。年度途中でも入会が可能で、会員増加に向けた更なる積極的取り組みが期待される。

私たちは芸術協会を応援します

新賛助会員

(団体) ◇ 龍門書道会
代表 大友 青陵 様
(個人) ◇ 白鳥 良一 様

内なる表現こそが「結い」

「言葉は、様々なものや行動を表現するが、音楽は心の内なる世界に関わっている」と言った名ヴァイオリニストがいま

す。またゲーテは、ある詩集で「芸術家は創れ、語るな」と述べています。

芸術家にとって最も重要なのは、それぞれが抱える「内なる世界」を如何に発見し、創りあげていくかの過程であり、その創る手段として物や音などが存

各部の積極的取り組みに期待

事業担当執行理事 渡部 勝彦

在しているのです。このような内なる世界を物や音などで表現する行為こそが「結い」なのではないでしょうか。

宮城県芸術協会が前回に続いて、本年度の第55回芸術祭の統

個々の内なる発見を如何に表現するか、そしてその完成品こそが「結い」の賜物であろうと思えます。

「結い」を意識しながら生み出された優れた作品を、県民の皆さんに披露

一テーマに掲げた「結い」という言葉の意味を狭義的に捉えることなく、万物は何らかの融合(体)から成り立っているという現実を再確認しながら考えるということも必要でしょう。

日につながっていくのだと確信しています。

本年度の芸術祭をさらに意義ある事業にするためにも、会員

の皆様の積極的な取り組みを期待しています。

平成 30 年度 新入正会員名簿

部 門	氏 名(本 名)	住 所	部 門	氏 名(本 名)	住 所
【絵画部】				上 野 裕佳里	仙台市泉区
〈日本画〉	中 村 陽 子	仙台市青葉区		木 越 直 彦	仙台市青葉区
〈日本画〉	藤 田 裕 美	仙台市青葉区		郷 家 由梨花	仙台市青葉区
〈洋画〉	阿 達 とし子	仙台市泉区		松 下 麻奈美(千田麻奈美)	仙台市青葉区
〈洋画〉	伊 藤 敏 行	仙台市太白区	【邦楽部】		
〈洋画〉	伊 藤 奈 美	仙台市太白区	〈長唄〉	杵 家 七清湖 (大内祐子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	氏 家 房 江	栗原市	【文芸部】		
〈洋画〉	大 関 安伊子	仙台市泉区	〈短歌〉	穴 澤 孝 一	仙台市若林区
〈洋画〉	大 友 幸 枝	仙台市泉区	〈短歌〉	稲 葉 敏 子	石巻市
〈洋画〉	木 下 典 子	仙台市泉区	〈短歌〉	佐 藤 節 子	仙台市泉区
〈洋画〉	今 野 治 幸	仙台市若林区	〈短歌〉	宮 城 公 子	名取市
〈洋画〉	佐々木 捷 子	遠田郡美里町	〈短歌〉	吉 田 ノリ子	遠田郡美里町
〈洋画〉	佐 藤 ゆ み	仙台市太白区	〈俳句〉	伊 藤 一 男	仙台市宮城野区
〈洋画〉	鈴 木 由美子	仙台市青葉区	〈俳句〉	江 戸 裕 子	柴田郡大河原町
〈洋画〉	相 馬 亮	名取市	〈俳句〉	小野寺 みち子	仙台市青葉区
〈洋画〉	太 宰 ふじ子	白石市	〈俳句〉	木 村 裕 一	石巻市
〈洋画〉	千 葉 裕 子	大崎市	〈俳句〉	熊 谷 山 里 (敏明)	多賀城市
〈洋画〉	天 満 秀 人	福島県会津若松市	〈俳句〉	成 田 智 子	神奈川県葉山町
〈洋画〉	中 井 一 彦	仙台市泉区	〈川柳〉	菅 野 佳都子 (勝子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	長 澤 二 雄	仙台市泉区	〈川柳〉	須 田 隆 行	仙台市泉区
〈洋画〉	野 澤 淳 悦	栗原市	〈川柳〉	鳥 文 庫 (中島吉一)	仙台市太白区
〈洋画〉	原 内 義 晴	仙台市泉区	〈川柳〉	堀之内 稔 夫	宮城郡利府町
〈洋画〉	平 塚 由 彦	牡鹿郡女川町	【舞踊部】		
〈洋画〉	堀 内 洋 子	宮城郡利府町	〈日舞〉	花 柳 弥 菜 (大友亜紀)	仙台市青葉区
〈洋画〉	山 田 祥 子	仙台市青葉区	〈日舞〉	花 柳 優和沙 (西浜麻衣子)	仙台市太白区
〈洋画〉	渡 辺 道 子	岩沼市	【茶道部】		
【彫刻部】			〈表千家〉	中 田 宗 舟 (浩子)	仙台市宮城野区
	中 村 たみ子	石巻市	〈表千家〉	八 島 宗 尋 (広臣)	伊具郡丸森町
【工芸部】			〈裏千家〉	今 野 宗 智 (智恵)	仙台市青葉区
〈陶芸〉	及 川 貴 宏	仙台市青葉区	〈煎茶道三彩流〉	大久保 聖 葉 (妙)	仙台市青葉区
〈陶芸〉	桑 原 聡 一	大崎市	〈煎茶道三彩流〉	大 森 湖 溪 (芳子)	仙台市青葉区
〈陶芸〉	桑 原 リエ	大崎市	〈煎茶道三彩流〉	大和田 春 逕 (勝子)	仙台市太白区
〈金工〉	倉 澤 良 樹	仙台市青葉区	〈煎茶道三彩流〉	菅 澤 洸 南 (和子)	仙台市宮城野区
【書道部】			〈煎茶道三彩流〉	鈴 木 美 華 (美智子)	仙台市太白区
	赤 間 裕 子	宮城郡利府町	〈煎茶道三彩流〉	堀 江 聖 笙 (笙子)	名取市
	安 住 美弥子	仙台市宮城野区	〈煎茶道三彩流〉	鷺 尾 峰 溪 (妙子)	仙台市青葉区
	阿 部 海 鶴 (泰)	仙台市青葉区	〈宗徧流〉	田 原 宗 澄 (すみ)	仙台市青葉区
	石 田 蒼 龍 (ユミ子)	仙台市太白区	【写真部】		
	伊 藤 四 夏 (ちよみ)	岩沼市		小松原 秀 樹	仙台市泉区
	継 枝 小 琴 (佐和子)	仙台市泉区		佐々木 俊 江	白石市
	中 島 桃 沙 (裕子)	仙台市太白区		千 葉 精 一	仙台市宮城野区
	三 澤 よし江	仙台市太白区		中 村 千 秋	仙台市青葉区
	若 生 克 象 (克義)	仙台市青葉区		平 間 善 隆	岩沼市
【華道部】				山 内 則 義	仙台市宮城野区
〈龍生派〉	菅 原 精 華 (精子)	仙台市宮城野区		横 山 光太郎	仙台市青葉区
【洋楽部】					
	石戸谷 香 子	仙台市泉区			



台湾九份

研修旅行
10月末台湾へ

本年度は台湾を研修旅行先とする方向で計画を進めている。研修地は平成5年より海外を念頭に選定してきているが、国際的な治安の悪化を受けて、昨年度は国内とした経緯がある。ただ、国際環境に一定の安定が確保できている状況を踏まえ、復活させることにした。

詳細は次号の「はなやま217号」に掲載するが、部門を超えた会員間の絶好の交流の機会でもあり、奮ってご参加いただきたい。

【概要】日程…10月末 4泊5日
研修地…台湾

理事長・執行理事、郡仙台市長らと会談

2月16日、午前11時から郡和子仙台市長と当協会の大場理事長と、執行理事5名の会談が仙台市役所で行われた。郡市長から宮城県芸術祭の主催団体として仙台市並びに仙台市教育委員

会は今後も取り組んでいくとの挨拶があった。
当協会側は、①芸術祭開会式、表彰式への市長の出席②今後の定期的意見交換に向けた会談の設定③芸術祭における共催金増

カメイ美術館共催展

当協会とカメイ美術館共催の絵画展「宮城県芸術協会絵画部門現運営委員等の『現在と過去』Ⅱ期」が1月30日から3月11日まで青葉区のカメイ美術館で開催された。2月17日にギャラリートーク、3月3日には洋楽部会員4名(浅野裕里香、平松典子、小澤牧子、明珍幸希)による弦楽四重奏をギャラリートークサー

ミュージックフェスタ2017

当協会の他4団体共催による「みやぎミュージックフェスタ2017 in とみや」が2月25日、富谷市の成田公民館で開催された。プログラムは「オーブニ

額の検討④芸術文化振興をめぐる政策についての意見交換の機会設定―の4点を要請した。
その後、仙台市議会議長らとの会談も行った。市長への要請に加え、芸術祭表彰式へ正副議長らの出席を要請した。
この会談を芸術文化政策の拡充につなげたい。

による感謝の意が表された。

ングサウンド・オブ・ミュージック」第一部アンサンブルの調べ」「第二部宮城県芸術協会と地元音楽家によるアンサンブル」「第三部響け！富谷からの歌声」で構成。最後は聴衆も加わり富谷市市民歌の合唱で締めくくられた。来場者は432名だった。

震災孤児等支援に寄付

写真部
当協会写真部は芸術祭写真展で販売したポストカードと部催のチャリティー写真展の各売上金、計17万円を東日本大震災に係る震災孤児等への支援金として宮城県に寄付した。

寄付金は2月16日に写真部落合英俊部長、山本かつい副部長から県保健福祉部子育て支援課に手渡され、県知事からは文書



寄付金を渡す落合部長(左)

芸文協「北斗42号」を発行

東北・北海道芸術文化団体協議会の機関誌「北斗42号」が1月20日付で発行された。編集・発行は青森県文化振興会議が担当した。本号の特集テーマは「各県・道のこれまでに傑出した文化人」。当協会からは雫石隆子執行理事が中村屋を創立した実業家相馬黒光を「宮城の誇る文化人アンビシヤス・ガール相馬黒光」と題し執筆した。

第54回宮城県芸術祭 第38回音楽コンクール入賞者 於 日立システムズホール仙台 予選：2月18日 本選：3月18日			
ビ ア ノ 部 門			
級	賞名	(特別賞)	氏名
初級 A	最優秀賞	宮城県教育委員会教育長賞	叶 幸多郎
	優秀賞		八島 梨緒
	優秀賞		芳賀 葵
	奨励賞		田村 優愛
初級 B	奨励賞		菅沼 茉奏
	最優秀賞	河北新報社賞	三條 朝弾
	優秀賞		菅原 寛乃
	優秀賞		山本 蒼和
	奨励賞		佐藤 優成
	奨励賞		柏 結菜
中級 A	作曲者賞		菅原 寛乃
	最優秀賞	宮城県芸術協会賞	三條 朝弾
	優秀賞	仙台市教育委員会教育長賞	齋藤 哲大
	優秀賞		上松 咲愛
	奨励賞		永井 瑚子
中級 B	奨励賞		岩田 明輝
	最優秀賞	宮城県知事賞	高橋 都羽
	優秀賞		秋山 泰輝
	優秀賞		遠藤 菜々子
	奨励賞		齋藤 英希
	奨励賞		織田 ころこ
	奨励賞		小野寺 優花
	作曲者賞		中山 綺音
初級	作曲者賞		小野寺 優花
	最優秀賞	(公財)宮城県文化振興財団賞	中山 綺音
	優秀賞		
	奨励賞		
中級	奨励賞		
	最優秀賞	宮城県芸術協会賞	
	優秀賞		
	奨励賞		
上級	奨励賞		
	最優秀賞	河北新報社賞	
	優秀賞	宮城県教育委員会教育長賞	
	奨励賞	仙台市教育委員会教育長賞	
初級	最優秀賞	宮城県知事賞	
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
初級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
中級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		
上級	最優秀賞		
	優秀賞		
	奨励賞		
	奨励賞		

第 22 回杜の都大茶会

5月26・27日

絵画部スケッチ研修会

無料体験今年も実施

会津若松・裏磐梯方面



当協会と河北新報社が主催する第22回「杜の都大茶会」は5月26日(土)、27日(日)の両日、新緑の仙台市青葉区の勾当台公園で開催される。当協会の13流派が趣向を凝らした茶席を設けお点を披露し、市民をもてなす。例年好評の体験コーナーは今年も実施する。

茶席券は、前売りが2席1200円、当日は1席券700円、2席券1400円となる。

流派ごとの日程は次のとおり(雨天催行)。

◇5月26日 裏千家、煎茶道三彩流、江戸千家、玉川遠州流、煎茶道清泉幽茗流、宗徧流、武者小路千家

◇5月27日 表千家、石州清水流、大日本茶道学会、煎茶文雅静庵流、織田流煎茶道、遠州流茶道

今年の絵画部スケッチ研修会は福島県会津若松市と裏磐梯高原で実施する。初日は会津若松市の歴史的名所の飯盛山や鶴ヶ城公園を戊辰戦争から一五〇年の節目に、「形と色で再発見」を趣旨とし訪問。各所でスケッチの後、宿泊先の裏磐梯高原に移動する。翌日はそのまま滞在し、新緑の磐梯山、松原湖、五色沼の景観ポイントでスケッチを堪能する。

絵画部会員以外の参加も受け付ける。申し込みは芸協事務局へ。応募の締め切りは5月10日(木)。

【日程】▽5月26日(土) 8時45分仙台駅東口集合。会津若松市内でスケッチ。裏磐梯高原宿泊▽5月27日(日) 裏磐梯高原周辺でスケッチ。昼食・鑑賞会。17時30分頃仙台駅東口着・解散。

【宿泊先】 休暇村裏磐梯(福島県北塩原村楢原)

【参加費】 26000円(個室等は応相談)

【募集人数】 40人(定員になり次第受付終了)



昨年度の開場式

当協会と韓国芸術文化団体総連合大邱広域市連合会による最後の芸術交流事業が7月10日(火)、日立システムズホール仙台シアターホールで開かれる。吟味を尽くしたプログラムの交歓で、多くの成果を上げてきた事業を華やかに締めくくる。事業は当協会が定款に掲げる国外との芸術文化交流の軸。刺激を与え合うことによる相互の芸術活動の発展と、隣国の個性的で優れた作品の鑑賞機会の創出、提供を願って、1995年の第1回以来、22年にわたり原則、年1回、日韓相互に質の高い交流を重ねてきた。

世紀をまたぎ実績を積み上げてきた事業だが、回を重ねて所期の目的を達成し得たと判断。取り巻く環境の変化も受けて、今回の「仙台大会」でひとまず幕を閉じることになった。

集大成的な意味合いを持つ今回、当協会は「『結い』伝統文化のコラボレーション」が放つ未来へのひかり」をテーマに茶の湯音頭、元禄風花見踊を披露。長年の交流を祝う。

大邱側も韓国舞踊、伽倻琴&箏琴の三重奏など、韓国らしい

出し物を用意している。諸準備は着々。フィナーレを飾る「歴史的舞台」を、多くの入場者で盛り上げたい。チケットは2000円(全席自由)。当協会事務局でも取り扱っている。

文学散歩

10月に福島県浜通りへ

本年度の文学散歩は10月3日(水)、4日(木)の2日間の日程で実施される。テーマは「浜通りの現在と文学を巡る」で福島県浜通り方面を訪ねる。

主な見学予定場所は(1日目)「埴谷島尾記念文学館」、塩屋崎灯台、「勿来文学歴史館」、五浦六角堂、「岡倉天心記念五浦美術館」。(2日目)「野口雨情童謡館」、「草野心平記念館」、「智恵子記念館」、「霞ヶ城公園など。宿泊は雨情の宿「新つた」(いわき市湯本温泉)。参加費用は29000円。募集人数40人。福島県浜通りは、2007年の文学散歩で訪れているが、10年余りもたてばかなりの変化があるだろう。新たな気持ちで、会員以外の友人や知人たちも誘い多数の参加を期待している。詳しい案内は次号に掲載予定。

大邱との最後の交流事業
7月10日、日立システムズホール仙台で

平成 30 年度 事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団の7団体共催により、本年度で第55回目となる宮城県芸術祭を開催する。また、昨年度に引き続き、芸術祭統一テーマ「結いパートⅡ」を背景に構成された「平成30年度芸術祭スペシャル・イベント」を、9月30日（日）にせんだいメディアテーク一階を会場に開く。開催期間は9月21日（金）の開会式（会場：せんだいメディアテーク）から、11月21日（水）の表彰式（会場：ホテルメトロポリタン仙台）を経て、翌年3月17日（日）の音楽コンクール本選までの期間となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
展示関係事業	工 芸 展	9月21日（金）～9月26日（水）	せんだいメディアテーク 5F
	写 真 展	9月21日（金）～9月26日（水）	せんだいメディアテーク 5F
	彫 刻 展	9月21日（金）～9月26日（水）	せんだいメディアテーク 6F
	絵 画 展	9月28日（金）～10月3日（水）	せんだいメディアテーク 5F・6F
	華 道 展	10月5日（金）～10月10日（水）	せんだいメディアテーク 5F
	書 道 展	10月5日（金）～10月10日（水）	せんだいメディアテーク 5F・6F
演奏関係事業	長 唄 演 奏 会	10月21日（日）	日立システムズホール仙台
	音 楽 会	11月9日（金）	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文 学 散 歩	10月3日（水）～10月4日（木）	福島県浜通り地区
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日（月）	750部発行
	文 芸 祭	10月27日（土）	東京エレクトロンホール宮城
茶 会	茶 会	10月14日（日）・21日（日）・28日（日）	輪王寺
人材育成事業	写 真 公 募 展	9月21日（金）～9月26日（水）	せんだいメディアテーク 5F
	絵 画 展（公募の部）	9月21日（金）～9月26日（水）	せんだいメディアテーク 6F
	彫 刻 公 募 展	9月21日（金）～9月26日（水）	せんだいメディアテーク 6F
	受賞者によるガラコンサート	10月7日（日）	日立システムズホール仙台
	第39回音楽コンクール 【ピアノ部門・ヴァイオリン部門】	予選：2月17日（日）	日立システムズホール仙台
		本選：3月17日（日）	
	写 真 セ ミ ナ ー	未定	未定

※展示関係事業：各展会期中にはギャラリートークや作品解説、作品制作の実演なども実施する。

※文芸関係事業：文芸祭では一般を対象として文芸作品を公募し、優秀な作品の発表、表彰等を行う。

※巡回展事業：宮城県教育委員会を通じて県内市町村からの開催要望がなかったことから30年度は見合わせる。

※芸術祭参加行事：例年と同様に第62回仙台三曲協会定期演奏会、第49回洋舞公演を芸術祭参加行事とする。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催または後援【公益目的事業2】

多くの県民への本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会の提供及び、芸術文化に関する人材の育成と各分野の幅広い裾野拡大と普及啓発を図ることを目的とし、各事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
鑑賞機会提供事業	第55回 宮 城 県 芸 術 祭 絵 画 展 受 賞 者 作 品 展	12月14日（金）～20日（木）	東京エレクトロンホール宮城
	（カメイ美術館共催） 第10回 絵 画 作 品 展	2月初旬～3月中旬	カメイ美術館
	みやぎミュージックフェスタ2018inざおう	未定	蔵王町ふるさと文化会館
伝統文化体験事業	第22回 杜 の 都 大 茶 会	5月26日（土）・27日（日）	勾当台公園
人材育成事業	県 民 と の 美 術 交 流 ・ ギャラリートーク	9月29日（土）	せんだいメディアテーク
	書道部による県内小中 学校への講師派遣事業	通年	県内小中学校
	（宮城県文化振興財団共催） 定禅寺フォトコンテスト	未定	東京エレクトロンホール宮城
後 援 事 業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞品等を提供する。（平成29年度承認実績：85件）		

(3) 国内及び国外の団体との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東 北 ・ 北 海 道 交 流 事 業 会 文 化 講 演 会	6月14日（木）	福島テルサ
仙台・大邱国際 芸術交流事業	（日・韓国国際交流） 仙 台 ・ 大 邱 交 流 公 演	7月10日（火）	日立システムズホール仙台

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業：本年度担当幹事地区は福島県。

※仙台・大邱国際芸術交流事業：茶道部、華道部、邦楽部（三曲、長唄）と舞踊部（日舞）のコラボレーションによる舞台公演（有料）を実施する。なお、長い歴史を持つ本交流事業は、今回をもって終了とする。

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する各研修事業と、協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物の刊行を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会（講師：津田喜章氏）	6月3日（日）	仙台市福祉プラザ
	絵画部スケッチ研修会	5月26日（土）・27日（日）	福島県会津方面
	書道部研修会	10月7日（日）	せんだいメディアテーク
	第45回研修旅行	10月下旬	台湾台北・台南
発 行	機関紙「はなやま」発行	年4回発行（5・7・11・1月）	年4回発行
	「会員名簿」発行	7月頃	隔年発行

平成30年度正味財産増減予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
受取入会金	0	0	0	850,000	850,000	0	850,000	1,700,000
受取会費	0	0	0	12,650,000	12,650,000	2,540,147	8,129,853	23,320,000
事業収益	8,473,000	116,000	940,000	0	9,529,000	4,782,000	0	14,311,000
受取補助金等	200,000	0	200,000	0	400,000	0	0	400,000
受取負担金	12,775,000	0	0	0	12,775,000	0	0	12,775,000
受取寄付金	125,000	0	0	0	125,000	0	0	125,000
雑収益	270,000	0	0	0	270,000	0	3,000	273,000
経常収益計	21,843,000	116,000	1,140,000	13,501,000	36,600,000	7,322,147	8,982,853	52,905,000
(2) 経常費用								
事業費	30,365,871	2,773,462	4,741,520	0	37,880,853	7,322,147	0	45,203,000
管理費	0	0	0	0	0	0	7,402,000	7,402,000
経常費用計	30,365,871	2,773,462	4,741,520	0	37,880,853	7,322,147	7,402,000	52,605,000
当期経常増減額	△8,522,871	△2,657,462	△3,601,520	13,501,000	△1,280,853	0	1,580,853	300,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	8,522,871	2,657,462	3,601,520	△13,201,000	1,580,853	0	△1,580,853	0
当期一般正味財産増減額				300,000	300,000	0	0	300,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	43,301,397	43,301,397	0	0	43,301,397
一般正味財産期末残高	0	0	0	43,601,397	43,601,397	0	0	43,601,397
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	130,000	0	0	0	130,000	0	0	130,000
指定正味財産期末残高	100,000	0	0	0	100,000	0	0	100,000
III 正味財産期末残高	100,000	0	0	43,601,397	43,701,397	0	0	43,701,397

公益目的事業会計事業費 (A)	[全体] 経常費用計 (B)	公益目的事業比率 (A/B)
37,880,853	52,605,000	72%

